

# ピパオイ新聞

2020年12月15日

本当は

# 美唄がすごい



## 炭鉱で栄えていた美唄

私たちが、炭鉱×モリアル公園  
リアル公園など、炭鉱や  
昔の美唄のことと結び  
つきの深いところに行  
てきた。

そもそも炭鉱とは石  
炭を掘り出すための鉱  
山のこと。石炭は、黒  
いダイヤとも呼ばれ、  
タセコイヤの本州は  
るものだ。当時の日本  
のエネルギーの主役だ。  
この堅坑槽は地下二七〇  
メートルを掘き、この  
二つを逆方向に回して  
石炭を上げていた。  
炭鉱の仕事は、一、  
二、三番槽には分かれ  
二十四時間交代制で働  
いていた。休みの日は

「正月」「お盆」「山神祭」の  
日で暗い坑内での仕事  
から解放された炭鉱マ  
ンや子供は一体となり活  
気にあふれた盛大な催  
しだった。最盛期の美  
唄の人口は九万人だ。

## 活躍したSL

昭和二十三年に建てられた  
衆明駅では、美唄が炭鉱で栄  
えていた頃に活躍していた  
SLを見ることもできる。

炭鉱から石  
炭を美唄に  
運ぶための  
重要な役割  
を果たして  
いた。



## 美唄の芸術広場

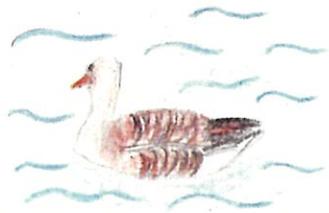
アルテピアッツァ美唄は、  
平成四年に彫刻家安田侃によ  
てつくられた。アルテピア  
ツァはイタリア語で芸術広場  
という意味だ。

安田侃の作品は、イタリア  
の大石でつくられており、  
作品名も出さずに展示してい  
る。これは、見に来た人が、  
さわって、おて、感じたこと  
を大切にしてほしいからだ。



## 沼宮島を支える鳥

沼宮島はラムサール条約に登録されて  
いる沼だ。  
沼宮島といえば、  
マガンで有名だ。マ  
ガンは夏はロシア、  
冬は九州で生活する。  
その間の秋と春に宮  
島沼にやってくる。  
沼宮島は、マガン  
にとりて安心して休  
める場所であり、  
まわりにはほたくさ  
の田んぼがあるため  
豊富なえさも食べる



## 青い目の人形

美唄市郷土史料館には青い  
目の人形が展示されている。  
その人形の名前は「エーレ」と  
いい、昭和二年に日米親善交  
換人形としてアメリカと日本  
の親善活動の一環として贈ら  
れた。エーレンの他にも四体  
の人形が美唄に贈られたが、  
戦争の影響により処分された。  
美唄市は何もない  
町だと思っていたけ  
ど、昔の炭鉱で栄え  
ていた頃の美唄や、  
沼宮島のことについ  
て知ると、美唄はず  
じいところなんだと  
思い、美唄を好きで  
いようと思えた。

まとめ